

窪田華岳先生書



浮雲不動孤峰起、落日長臨二水寒（李攀龍）
流れる雲も動かず、孤峰がそそり立ち、落日がいつまでも光を落として、二つの川はさむざむとしている。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

瓶凍知寒（北史崔浩傳）

瓶凍りて寒を知る。

瓶水の凍るを見て天下の寒きを知る。

霜吹柳葉落都盡
魚喫雪花方解肥

霜は柳葉を吹いて落ちて都て都て尽き、
魚は雪花を喫して方に解肥す。

柳は葉が落ちたが魚は肥えた。解は解の俗字。

山中流泉（儲光羲）

山中の流泉 儲光羲

山中有流水 借問不知名
映地爲天色 飛空作雨聲
轉來深澗滿 分出小池平
恬淡無人見 年年長自清

山中有流水有り 借問すれども 名を知らず
地に映えて 天色を為し 空に飛んで 雨声を作す
転じ来つて 深澗に満ち 分れ出でて 小池平らかなり
恬淡として 人の見る無く 年年 長に自ら清し

はつ冬のころのならひの曇り日は落葉のこゑのなつかしきかな（若山 牧水）

半紙部規定課題A

12月15日正午必着

見 長
面 疑
即

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

12月15日正午必着

行書

長疑即
見面

隸書

長疑即
見面

明石春浦先生書

草書

長疑即
見面

行草書

長疑即
見面

世の中はいつたいどうなっているのだろう 東西にはるか離れて過す私たち
いつもすぐにも会えるかと思いつながら かえってながく便りもないということになってしまっ
田の麦は深く茂って雉をかくし 淮河の苔むす岸辺、水浅くして魚が見えている
懐しく思慕しながら会うことができないままに ああさやかな月が幾たび満ち欠けしたことか

寄友人

張蟻

世道復何如

東西遠索居

長疑即見面

翻致久無書

旬麥深藏雉

淮苔淺露魚

相思不我會

明月幾盈虛

友人に寄す

張蟻

世道復た何如

東西遠く索居す

長に疑う 即ち面を見るかと

翻つて致す 久しく書無きを

旬麥 深く雉を蔵し

淮苔 浅く魚を露わす

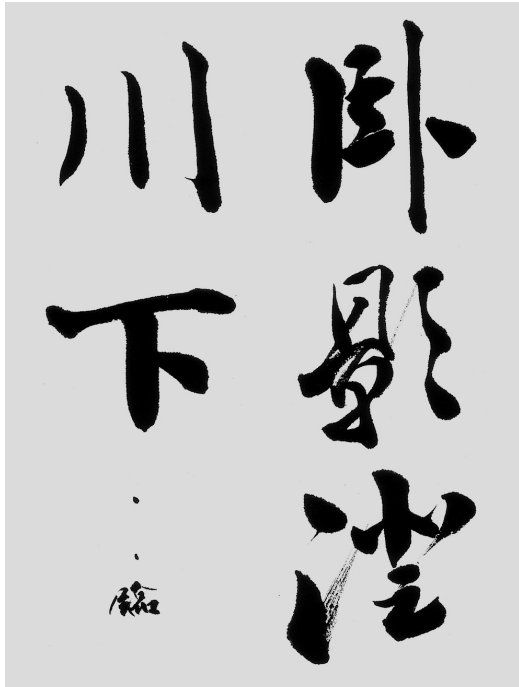
相思えども 我と会せず

明月 幾たびか盈虚せし

(出典)

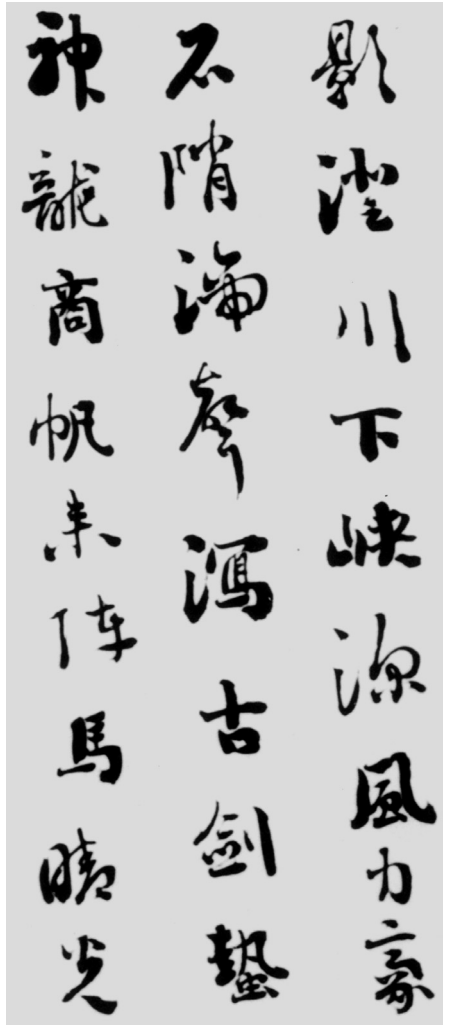
朝日新聞社刊

「三体詩」下より



臥影澄川下

三浦士岳先生臨書



(臥) 影澄川下峽深風力豪

石階湍聲瀉古劍蟄

神龍商帆來陣馬晴光

清 劉墉・行書詩書四首

劉墉（一七一九〜一八〇四）山東省諸城の人。字は崇如、はじめ木庵と号し、のちに石庵と改めた。ほかに青原、香巖、日観峰道人などと号した。

代々貴族の家柄で、父の劉統勳は東閣大学士という官職にまなつた人で、劉墉はその長子として生まれた。父に劣らず徳望があり、累進して体仁閣大学士となり、のちに太子少保が加えられたという。

彼は経史百家に通じ、詩文にすぐれ、特に書をよくしたことで名高い。はじめ董其昌、趙子昂を学び、壮年になり蘇東坡、黄谷山を学び、その後、魏晋の古法におよんで、彼の書は確立されていったと言われる。やや円味をおびながら、一字一字に工夫を凝らし、淡々としているようで、大小肥瘦や結体の変化に気を配っている。明代の連綿草のような派手さとは対照的に想いを内へ籠めた朴訥とした重厚さと深い情味を感じさせる。漆のごとき濃墨を用い、濃墨宰相と称された。

（春濤）

12月15日正午必着

教育部毛筆



せい じゃく
静 寂

中学一年

雨宮春聲先生書



さい ばん
歳 晚

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



さい
最

こう
高

小学五年

榎戸春龍先生書



せい
聖

か
歌

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

12月15日正午必着



そ
だ
育

つ

小学三年

藤田幸春先生書



ゆう
友

こう
好

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

お と 小学一年・幼年



森戸春濤書

なお 直 す 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

朝から部屋のそう
じを念入りにする

小学五年

子供たちの声が冷た
い冬空にこだまする

小学六年

光陰矢の如し今年も
残す日はわずかです

中学

冬至を迎え時の流れの
早さに驚いています

一般(級位)

空蟬の世にうづる江に釣するや誰
か、鮮の香にうづる江に釣するや誰

空蟬うつせみの世よにうづる江えに釣つするや誰たれ
(黒田清綱)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

こ	ふ
な	ゆ
ゆ	の
き	
が	そ
ま	ら
う	に

幼年

ト	サ
ナ	ン
カ	タ
イ	を
の	の
む	せ
れ	た

小学一年

し	大
そ	み
ば	そ
を	か
た	は
べ	年
る	こ

小学二年

い	北
	風
げ	に
ん	も
き	ま
な	け
子	な

小学三年

の	カ
一	レ
ま	ン
い	ダ
と	ー
な	が
っ	最
た	後

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

あまのふかあまの

いほまのふかあまの

あまのふかあまの
いほまのふかあまの



岩本景楓先生書

あきのたのかりほのいほのとまをあらみわがころもではつゆにぬれつゝ (天智天皇)

支多能可利本

農万越三和可楼二連

(実りの秋の取り入れに当たって、刈り取った稲穂を荒らされないように番をす
る、田のほとりに作った仮小屋に泊まっていると、屋根をふいてある苦の目が
荒らるので、私の袖は、すき間からもれる夜露に、しきりにぬれることだよ。)